

2016年5月20日
JFE 鋼板株式会社

東日本製造所溶融亜鉛めっきライン（CGL）生産体制の強化について
（千葉地区 CGL のめっき槽増設と京浜地区 No.4 CGL の休止）

JFE 鋼板(代表取締役社長:小倉康嗣)は、東日本製造所千葉地区(千葉市)の連続溶融亜鉛めっきライン(千葉 CGL)のめっき槽を2基に増設し、このたび、営業生産を開始いたしました。また、2016年度上期を目処に京浜地区(川崎市)のNo.4連続溶融亜鉛めっきライン(京浜 No.4CGL)を休止し、その生産を東日本製造所千葉地区と玉島製造所(岡山県倉敷市)の連続溶融亜鉛めっきラインに移管いたします。

千葉 CGL はめっき槽1基で溶融亜鉛めっき鋼板(GI)と高耐食性めっき鋼板(エコガル)を汲替え方式により製造しておりましたが、製造可能品種に限られるため稼働率を上げられないという課題がありました。そこで、昨年下半年にめっき槽を2基化する工事を行い、品質確性、JIS取得のプロセスを経て、本年5月に営業生産を開始いたしました。これにより、千葉地区において、市場ニーズの高いガルバリウム鋼板(高機能カラー鋼板の素材、高耐食めっき鋼板)の生産が可能となり、供給能力の拡大、稼働率の向上、ユーティリティーロスの削減等の効果が期待できます。

一方、京浜 No.4CGL はガルバリウム鋼板を生産しておりますが、稼働率は半分以下という状態が続いておりました。このため、現状の生産余力の解消と全社設備の稼働率向上を目的として、同設備を休止し、その生産を東日本製造所千葉地区と玉島製造所に移管いたします。これにより、今後とも全体の生産量に影響を与えることなくガルバリウム鋼板の東西製造体制を維持してまいります。

従来、京浜 4CGL で製造していた製品に関し、現在、お客様での千葉材・玉島材の品質承認活動を進めており、2016年度上期中に京浜 No.4CGL を休止する見通しです。

当社は、一連の生産体制の強化を通じて安定した収益を実現するとともに、商品開発や薄板建材部門の強化等を積極的に推進してまいります。

以上

問合せ先 総務部 03-3493-1326
企画部 03-3493-1256